

特集

まちなかの移動が もっと便利に

鳥取市100円循環バス「くる梨」は、中心市街地の利便性の向上を目的に、平成16年1月から運行しています。

赤と青、従来の2コースに加え、新しく『緑コース』が、今年4月1日から運行されることが決まりました。

問い合わせ先 本庁舎交通政策室 TEL 0857-20-3257

まちなかの回遊性向上

新設される緑コースは、本市のメインストリートである若桜街道と智頭街道を突き抜け、鳥取駅から久松山のみもとまでを往復します。このルートは、本市の歴史・文化が色濃く残る仁風閣や五臓圓ビル、わらべ館の前を通るため、観光目的の利用に便利。また、商店街やスーパーマーケット、百貨店なども経由するため、市内の買い物も利用できます。

この緑コースの運行に合わせて、商店街では、買い物や飲食を楽しくしてもらうための企画を考案

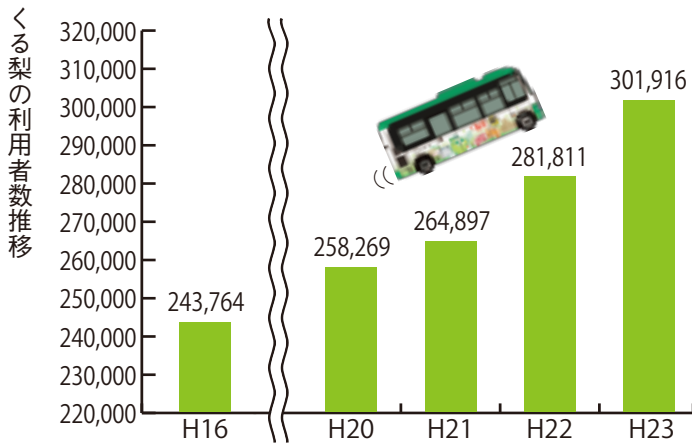


利用者の声をもとに改善

中。まちなかの回遊がますます楽しくなります。

くる梨の運行が始まった平成16年度、1年間に25万3764人がくる梨を利用しました。昨年度では、過去最多となる30万1916人が利用。今年も30万人を超える人が利用する見込みであり、まちなかの買い物や通院、観光のためにはならない交通機関となつていきます。

くる梨は、専用1日乗車券の販売や、利用実態にあわせたルート変更など、乗車する人たちの利便



くる梨一人旅・・・

くる梨は、どんな人たちがどのような用途で利用されているのだろうか。まちなかに住む私にとって、くる梨は身近な存在のだが、久しく乗っていない。また、乗った時も周りにどんな人がいるかなど、考えていなかった。

くる梨の利用者の声を聞こうとまちへ出かけた。乗車場所は、駅前バスターミナルの乗り場。この場所が最も利用されているという情報があったからだ。バスに乗り込むと、既に一人が座っていた。

座席につき、車内の様子を伺う。降車を知らせるボタンが手の届きやすい位置にある。「子どもやお年寄りでも、楽にボタンが押せるな」と細かい配慮を感じた。そういうえば乗車口の段差もすごく低かった。

私に続き2人が乗車。4人を乗せてバスは出発した。

目の前に座った人に話を聞いてみる。「かかりつけの病院に行くところですよ」と答

くる梨のサービス一覧

種類	内容	販売場所
1カ月定期券	3000*1円で販売	鳥取バスターミナル
1日乗車券	300円で全コース 1日乗り放題	鳥取バスターミナル、 くる梨車内など
100円回数券 50円回数券*2	11枚綴り1000円 11枚綴り 500円	鳥取バスターミナル
電子マネー*3	WAONカード、Edy、クイックペイ、iD で支払可能(かざすだけでOK!)	

※1 従来の定期券は3900円

※2,3 50円回数券と電子マネーは、4月1日から実施

性が向上するよう改善が図られてきました。
緑コースの運行にあわせ、赤と青の2コースのルートの一部変更。これまで運行されていなかった鹿野街道、玄好町、材木町、相生町などの地域を運行します。また、支払いの煩わしさを解消するため、電子マネーを導入。中でも、WAONカードをバスに導入したことは全国で初めての取り組みです。
くる梨は、今後も利用者の立場に立って利便性の向上を目指します。

くる梨の運行情報

【時間】

8:05～18:15(20分間隔で運行)

※鳥取駅発時間

【便数】

平日1日31便、休日1日28便

【ルート】

左図参照

▷緑コース

鳥取駅→智頭街道→鳥取城跡→若桜街道→鳥取駅南を運行

▷青コース

一部ルートを変更(鳥取駅南、鳥取城跡へは運行しません)

▷赤コース

高砂屋前の運行を追加

【運賃】

▷乗車1回につき100円

▷未就学児は無料

▷障がい者手帳をお持ちの人と同行の介護者は50円

運行ルート (平成25年4月～)



「くる梨は生活に密着した乗り物。必ず心えなければいけないニーズがある」。降車した後、離れていくバスを見送りながらそう感じた。そういえば、全ての停留所を時間通りに周回していたのにも驚いた。

「目的地には駐車場が少ないため、くる梨はとても便利」と、くる梨のいい印象を話していただいた。緑コースのことはご存じでなかったが、「サービスがよくなるのはいいこと」という意見だった。
中村さんが降車した後、通院や買い物に毎日のように利用するという人、子どもを病院へ連れていった帰りという人など、乗り降りが続いた。



えてくれたのは、鳥取駅南に住む中村均さん。